

目次

- 【1】 ガラスのあれこれ
- 【2】 開放機器の紹介 (No.35)「赤外分光光度計 (FT-IR)」
- 【3】 国内の各種展示会への出展料を支援する補助金を公募します
- 【4】 令和8年度中部地方発明表彰募集のご案内

\*\*\*\*\*

【1】 ガラスのあれこれ

\*\*\*\*\*

ガラス製品は身近な、様々なところにあります。最も身近なガラス製品である窓ガラス等の板状ガラスには設計上強度が強いガラスと弱いガラスがあるのをご存じでしょうか。強いガラスとは強化処理がされた割れにくいガラスで、例えば、太陽光発電パネルのカバーガラスやスマートフォンのディスプレイガラスがあります。一方で、弱いガラスとは強化処理がされていないガラスで、「割れる」ことによって私たちの安全を守っています。一見すると相反するのように感じますが、具体的には、3階建て以上のビルで火災が発生した際に、消防隊は非常用出入口となる窓ガラス（赤色▼マークのある窓ガラス）を割って突入します。このようにガラスの割れやすい特徴を活かした弱いガラス製品もあります。

また、自動車用ガラスには、装着部分によって機能の異なる安全ガラスが用いられています。例えば、フロントウィンドウはガラス-樹脂-ガラスの複層構造になっていて、自動車の衝突事故で運転手がガラスに頭を打ち付けた際に、ガラスが割れることによって衝撃を吸収しつつも、樹脂で人体が車外に突き抜けないように受け止め、人体の損傷を軽減しています。また、サイドウィンドウは強化ガラスである一方で、車内から緊急脱出する際に割ったガラスは細かくかつ丸い破片となり、切創リスクを軽減しています。

▼ガラスのあれこれの続きは、工業研究所だより第42号でご紹介しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001245590.pdf>

また、ガラスに関する技術的なご相談などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

\*\*\*\*\*

【2】 開放機器の紹介 (No.35)「赤外分光光度計 (FT-IR)」

\*\*\*\*\*

ものづくり研究課で保有している開放機器の中から「赤外分光光度計 (FT-IR)」を

ご紹介します！

機器名：赤外分光光度計（FT-IR）

型式：サーモフィッシャーサイエンティフィック Nicolet Apex FTIR

（1）本装置の特徴

“有機化合物”の化学的な特徴に関して、測定（主に定性）できる分析機器です。短時間で、高感度、高分解能の非破壊測定が可能です。これらの特徴により、材料の同定、品質管理、研究開発など、幅広い分野での活用が可能です。当所では異物分析でのご利用が多いです。2026年2月に更新されました。

（2）仕様

- ・ 測定波数範囲 7,800～350cm<sup>-1</sup>
- ・ 1回反射水平状 ATR（Diamond クリスタル、Ge クリスタル）。試料をクリスタル（Φ 約 1mm）の上に置き密着させて測定
- ・ 測定可能な試料サイズ（目安）：厚さ 5mm 以下、幅 10mm 程度

（3）使用料

基本料金 370 円／回＋3,580 円／時間（1 時間未満は切り上げ）

－お問合せ先－

赤外分光光度計(FT-IR)のご利用、使用条件等の詳細をご希望の方は、電話(059-234-4374)又は、このメール末尾に記載のアドレスまでお問い合わせください。

▼機器の外観および詳細については、こちらからご覧ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/72042032878.htm>

▼当所の機器設備の利用方法や他の機器は、こちらをご覧ください。

<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/38610032876.htm>

\*\*\*\*\*

**【3】国内の各種展示会への出展料を支援する補助金を公募します**

\*\*\*\*\*

自動車関連企業等による国内販路拡大・開拓等支援事業補助金の公募を行います。同補助金は、電動化やデジタル化等を踏まえたサプライチェーン再編に対応するため、自動車関連をはじめとする県内中小企業等が行う国内販路拡大・開拓等を目的とした展示会への出展に必要な経費の一部を補助することで、県内中小企業等の競争力を維持・強化することを

目的とします。

▼補助対象事業

次世代自動車、蓄電池、カーボンリサイクル・マテリアル、新エネルギー、情報、医療・ヘルスケア、航空宇宙分野、建機・農機等の産業機械など、今後成長が期待される分野に係る製品・技術等における販路拡大・開拓等を目的として行う、国内展示商談会への出展事業。

▼補助事業期間

補助金の交付決定日から、最長で令和9年3月12日（金曜日）まで

▼補助額（補助率及び補助上限額）

- ・補助率 補助対象経費の1／2以内
- ・補助上限額 1,000千円

▼公募期間

令和8年3月3日（火曜日）から4月15日（水曜日）まで

詳細な内容及び条件、公募案内等については、ホームページ (<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0031300537.htm>) をご確認ください。

■申請先・問合せ先

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

三重県雇用経済部 新産業振興課 成長産業・ライフイノベーション班  
(担当) 藤山、山際

電話 059-224-3113

メール shinsang@pref.mie.lg.jp

\*\*\*\*\*

【4】令和8年度中部地方発明表彰募集のご案内

\*\*\*\*\*

大正10年に開始された地方発明表彰は、地方における発明の奨励、育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的に、全国を8つのブロックに分けて実施しています。この地域では中部地方発明表彰として、優れた発明、考案又は意匠を生み出した技術者、研究開発者や発明等の指導・育成・奨励に

貢献された方々を顕彰します。

令和8年度の表彰式は三重県で開催いたします。奮ってご応募ください。

▼主 催 : 公益社団法人発明協会

▼応募方法: 所定の応募書類にご記入のうえ、一般社団法人 三重県発明協会まで  
ご提出ください。

※応募書類は、公益社団法人発明協会ホームページ

(<https://koueki.jiii.or.jp/>) からダウンロードしてください。

▼応募締切: 令和8年3月31日(火) 必着

■お問い合わせ

一般社団法人三重県発明協会

TEL: 059 (222) 5505 E-mail: info@jiii-mie.jp

または

公益社団法人発明協会 発明奨励グループ

TEL: 03 (3502) 5431 E-mail: shourei@jiii.or.jp

---

■□■ このメールマガジンについて ■□■

◎皆さんからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております!

[ 編集・発行 ]

三重県工業研究所 企画調整課

〒514-0819 三重県津市高茶屋5丁目5番45号

電話番号: 059-234-4036 ホームページアドレス: <https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/>

メールアドレス: kougi に続いて、@pref.mie.lg.jp を付記してください。

～ 「@」は全角になっていますので、半角に変更してください。～

～ メールアドレス収集ロボット対策としてご了承ください。～

---